

## 【事業名】 電動車車載蓄電池の診断評価エコシステム構築

事業者名：ゴイク電池株式会社、株式会社日本総合研究所

実施期間：令和6年9月～令和7年2月

### 1. 事業の背景・目的

電動車両の電池容量を短時間で計測することにより、客観評価の方法がなく低迷する中古電動車市場の拡大、電池の循環価値向上による海外流出抑制などの課題を解決し、市場成長を促す車載電池の循環エコシステムを構築し、動脈と合わせた製品エコシステムの形成に資する仕組みの構築を目指す。

循環エコシステムは、情報プラットフォームを共通基盤として、様々な事業者が連携して電池や電動車さらにCO2削減効果、エネルギー利用、循環資源の価値を顕在化して各種サービスとともに市場流通することで、国際競争力のある成長市場を形成する。そのために、本事業では①ユーザー利用、②中古売買、③整備、④解体の各段階に向け、市場投入可能な診断技術を構築する。

診断機においてはCCS1規格への対応による北米流通車種への診断対応（図1）、診断評価およびデータ管理はクラウド化により情報プラットフォームとの接続性を向上させ（図2）、各種電池のデータを自動化することで多くのデータを保有することを実現（図3）する。また大規模な診断試験によりデータを取得し、診断アルゴリズムの精緻化またデータにもとづく保証サービス展開へ貢献し循環エコシステムを実現する。

### 2. 補助事業の概要



図1 海外電動車種対応  
CHAdeMO→CCS1変換コネクタ

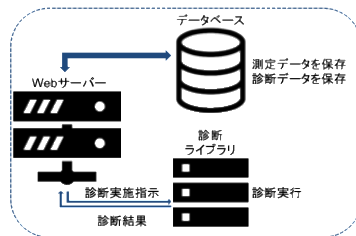


図2 クラウドシステム

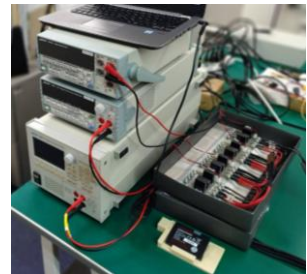


図3 電池自動測定装置

### ・車載電池の循環市場形成における本事業の位置づけ

#### 車載電池の循環バリューチェーン

電池・OEM ▶ 電動車ユーザー ▶ 中古事業者 ▶ 整備工場 ▶ 解体事業者 ▶ リユース製造事業者 ▶ リユース利用者 ▶ リサイクル事業者 ▶ 資源化事業者

